

中期運営方針の自己評価（令和5年度）

令和5年度事業の進捗状況について、評価指標に基づき以下のとおり自己評価を行う。
自己評価の結果は、以下のとおりである。

〔指標〕		令和5年度			令和4年度	増減	
		計画数	年度末実績	達成率	年度末実績	増減値	増減率
(1)資料の充実	蔵書冊数	666,000	667,640	100.2%	661,764	5,876	100.9%
	蔵書検索（HP）数	1,540,000	2,257,205	146.6%	1,578,457	678,748	143.0%
	来館者数	127,000	112,994	89.0%	126,490	▲ 13,496	89.3%
	貸出数	56,000	46,871	83.7%	50,262	▲ 3,391	93.3%
(2)デジタル化の推進	ふるさとひょうご関連データベース登録数	42,300	42,999	101.7%	41,966	1,033	102.5%
	電子書籍タイトル数	5,540	6,277	113.3%	6,236	41	100.7%
(3)レファレンスの充実	参考業務受付件数	9,000	7,933	88.1%	6,422	1,511	123.5%
(4)知的好奇心をくすぐる機会の提供	展示・講座の参加者数	900	2,782	309.1%	574	2,208	484.7%
	オンライン講座の受講者数	330	210	63.6%	91	119	230.8%
(5)人と情報の交流拠点機能の充実	談話室利用者数	21,000	18,618	88.7%	20,637	▲ 2,019	90.2%
	交流スペース利用企画数	5	5	100.0%	4	1	125.0%
(6)だれもが利用しやすい環境の推進	インターネット貸出予約利用冊数	8,000	7,419	92.7%	7,003	416	105.9%
(7)アウトリーチ事業の拡充	学校サポート講座						
	回数	5	7	140.0%	4	3	175.0%
	参加者数	300	228	76.0%	279	▲ 51	81.7%
	学校セット貸出						
	件数	17	14	82.4%	23	▲ 9	60.9%
	冊数	2,600	1,456	56.0%	2,196	▲ 740	66.3%
	出前講座・館外イベント等						
	実施回数	10	6	60.0%	8	▲ 2	75.0%
	参加者数	500	540	108.0%	372	168	145.2%
(8)資料貸借の協力体制の強化	市町立図書館リクエスト						
	リクエスト件数	350	280	80.0%	309	▲ 29	90.6%
	リクエスト応諾率	69.00%	71.07%	103.0%	68.00%	0	104.5%
	協力貸出						
	利用館数	1,500	1,488	99.2%	1,459	29	102.0%
	利用冊数 ※貸出数に含んでいる	14,000	12,789	91.4%	13,529	▲ 740	94.5%
(9) 関連機関との連携の強化	関連施設や県行政との連携						
	連携展示数	6	7	116.7%	6	1	116.7%
	連携先数	4	5	125.0%	3	2	166.7%
	参加者数	1,000	1,155	115.5%	—	—	—
(10) 県民・利用者参加型の図書館運営	ボランティア登録者	30	28	93.3%	26	2	107.7%
(11) 図書館職員の資質向上	市町立図書館職員研修受講生アンケートにおける成果の割合(%)	80	88	110.0%	—	—	—
(12) 情報発信力の強化	ホームページアクセス数	170,000	228,650	134.5%	145,929	82,721	156.7%
	新聞・ケーブルテレビ等への掲載件数	50	54	108.0%	62	▲ 8	87.1%

多くの指標が、令和4年度実績と比較すると増加しているが、令和5年度計画数には達していない。また、(1) 資料の充実、(7) アウトリーチ事業の拡充、(8) 資料貸借の協力体制の強化では、令和4年度実績から減少するとともに、令和5年度計画数に達しなかった指標が多かった。

(1) 資料の充実

「蔵書冊数」は5,876冊増えており、例年並み(約6,000冊)の増加である。「蔵書検索(HP)数」は、対前年度比143%であり、前年度の実績及び計画数を大きく上回っている。その要因として、令和5年4月28日に電子書籍の供用を開始したこと、令和6年1月4日にHALネットが新システムに移行しWEBでの利用登録を開始したことにより、利用登録者が増えたと考えられる。

「来館者数」、「貸出数」は、12月のシステム更新に伴う臨時休館もあり減少しているが、電子書籍の利用者数が14,890人あり、この分を利用者数に含めて計算すると、127,884人となり計画数を達成している。

R4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
来館者数	10,029	11,483	8,319	11,478	12,914	9,811	10,515	11,370	9,265	10,684	11,076	9,546	126,490
電子書籍利用者数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	10,029	11,483	8,319	11,478	12,914	9,811	10,515	11,370	9,265	10,684	11,076	9,546	126,490
R5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
来館者数	8,740	9,060	7,547	10,443	12,721	10,221	10,224	9,961	4,017	9,851	10,421	9,788	112,994
電子書籍利用者数	242	869	505	1,701	1,562	1,682	1,199	945	392	1,185	3,660	948	14,890
計	8,982	9,929	8,052	12,144	14,283	11,903	11,423	10,906	4,409	11,036	14,081	10,736	127,884

(2) デジタル化の推進

「ふるさとひょうご関連データベース登録数」「電子書籍タイトル数」とも前年度より増加かつ計画数を達成している。

(3) レファレンスの充実

「参考業務受付件数」は前年度と比較すると約120%上回っており、増加傾向である。令和3年度から令和4年度の増加率と同様に増加率を見込み計画数を設定したが、参考業務受付件数は対面によるものの割合が高いため、来館者数が前年度と比べ減少したことで計画数に達しなかったと考えられる。

(4) 知的好奇心をくすぐる機会の提供

「展示・講座の参加者数」は、前年度と比較すると485%増加している。これは、令和4年度実績及び令和5年度計画数は講座のみの参加者数であるが、令和5年10月より展示の閲覧者数をカウンターで数え、その数を加えたことによる。従前の積算では、対前年度比83%、対計画数比では下記のとおりオンライン受講者の伸び悩みから53%となっている。

「オンライン講座の受講者数」は、前年度より223%増加しているが、計画数には達しておらず、各種講座がオンラインで受講できるという広報が不十分であったと考えている。

(5) 人と情報の交流拠点機能の充実

「談話室利用者数」が前年度比 90%と減少している。これは、来館者の減少（前年度比 89%）に伴うものと考えられる。

(6) だれもが利用しやすい環境の推進

「インターネット貸出予約利用冊数」は 106%と微増しているが、計画数には達しなかった。

(7) アウトリーチ事業の拡充

「学校サポート講座」の実施回数については計画回数を上回っている。しかし、令和 4 年度の申込は学年単位が多かった一方で、令和 5 年度の申込みは図書委員等が多かったため、参加者数合計目標を達成することができなかった。

「学校セット貸出」は、利用校数・冊数とも減少している。事業の広報が不十分であったためと考えられる。

「出前講座・館外イベント等」の参加者は、前年度と比較すると 145%増加しており、目標数も達成している。

(8) 資料貸借の協力体制の強化

「市町立図書館リクエスト件数」は計画数の 80%、前年度と比べても 90%に減少した。

「市町立図書館リクエスト応諾率」は前年度より微増しており、目標値も達成している。

「協力貸出」について、前年度と比較して利用館数は微増しているが、協力貸出の利用冊数は 95%程度に減少している。理由として、WEBでの利用登録が可能になったことにより、利用者がインターネットから貸出を申込み、在住する市町で本の受け取りができる遠隔地利用が増えたため、市町立図書館を介する協力貸出冊数が減少した一因ではないかと考えられる。

(9) 関連機関との連携の強化

「連携展示数」「連携先数」「参加者数」とも前年度より増加かつ計画数を達成している。

(10) 県民・利用者参加型の図書館運営

「ボランティア登録者」は例年並みである。

(11) 図書館職員の資質向上

「市町立図書館職員研修受講生アンケートにおける成果の割合」については、計画数を達成している。

(12) 情報発信力の強化

「ホームページアクセス数」が前年度より 156%増加している。増加理由として、①電子書籍を閲覧するためには当館HPからアクセスする必要があること、②令和 6 年 1 月から開始したWEBでの利用登録は当館HPから申請する必要があること、が考えられる。